



現場監理の達人 集合住宅編

第24回 塗装工事

工事監理ガイドライン・工事監理チェックリスト



ここでの監理者の心構え

塗 装工事は性能と出来栄えの現場監理があります。性能については、下地処理の状態、塗料の種類、塗り厚さ、塗り回数などがあります。塗り厚さについては、塗料の数量（塗り面積に対する塗布量から材料使用量を算出）を確認します。出来栄えについては、塗り厚さが薄いので、下地の小さな凹凸が仕上げ面に表れるため、下地処理が重要です。仕上がった塗装面の色調、塗りむらなどのチェックもします。

塗装の種類や性能などの仕様は設計図書で定められていますが、一般に色は現場監理で色見本や塗り見本などで決定します。色見本などで客観的に確認しないと、後でイメージの違いとして問題になることがあります。特に面積が大きい箇所、屋外と屋内の違いなどによって、色のイメージが変わることがあるので、外壁などでは大きい見本を実際に使われる場所に並べて決定することも行われています。

工事名		工 期	年 月 日 ()
		監理責任者	

■ 工事監理ガイドライン「18. 塗装工事」〈確認項目及び確認方法の例示〉

工事内容		工事監理者の確認内容	
工事の種類	項目	確認項目	具体的な確認方法
18. 塗装工事	18.1 材料	・ 規格、種類、色、防火材料の指定又は認定	・ 目視に係る立会い確認 ・ 自主検査記録・材料搬入報告書・工事写真等に係る書類確認
	18.2 施工	・ 下地（乾燥・汚れ・平滑さ） ・ 塗料種類、塗り回数 ・ 外観（色調・塗りむら）	・ 目視に係る立会い確認 ・ 自主検査記録・施工記録・工事写真等に係る書類確認

■ 工事監理チェックリスト「18. 塗装工事」〈公共建築工事標準仕様書（建築工事編）を参考に作成〉

工事内容		工事監理者の確認内容	
工事の種類	項目	確認項目	具体的な確認方法
1. 一般事項	18.1.1 一般事項	・ 塗装工事に用いる材料 ・ 塗装の仕上り面の状態 ・ 塗膜の性能	☐ 塗装工事に用いる材料が所定のものであることの確認 ☐ 塗装の仕上り面が所要の状態であることの確認 ☐ 塗膜が耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないことの確認
	18.1.2 施工計画書等	・ 塗装工事施工計画書 ・ 塗装工事施工要領書	☐ 塗装工事施工計画書の確認 ☐ 塗装工事施工要領書の確認
2. 材料	18.2 材料	・ 材料の規格、種類などの仕様 ・ 防火材料の指定のある場合は材料の認定番号 ・ 上塗り用の塗料の色及びつや ・ 材料の使用数量	☐ 材料の製品名、種類、品番、色番号、製造年月日、ホルムアルデヒドのグレードなどの確認 ☐ 防火材料の指定のある場合は材料の認定番号の確認 ☐ 上塗り用塗料の色及びつやの確認 ☐ 計画した使用数量が使用されたことの確認
3. 下地	18.3 下地処理	・ 塗装の素地ごしらえの状態 ・ コンクリート下地の下地状態 ・ モルタル、コンクリートの場合は水分率	☐ 塗装下地に不具合がないことの確認 ☐ 塗装下地が平滑に施工されていることの確認 ☐ モルタル、コンクリートの場合は水分率の確認
4. 塗装	18.4 塗装	・ 施工環境 ・ 塗装工程 ・ 出来栄え	☐ 塗装場所の気温、湿度、換気などが適切であることの確認 ☐ 塗装が仕様通りの塗装工程で実施されていることの確認 ☐ 塗装の出来栄えで色調・塗りむらなどの欠陥がないことの確認